



令和 4 年 3 月 2 5 日

令和 4 年度北海道開発事業費

(釧路開発建設部実施分) の概要について

令和 4 年度北海道開発事業費（釧路開発建設部実施分）について、別紙のとおりお知らせします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部			
担当部門	所属役職名	氏 名	電 話 番 号
全 体 治 水 関 係 道 路 関 係 港湾・空港・水産関係 農 業 関 係	広 報 官	田中 邦彦	(市外 0 1 5 4) 2 4 - 7 3 5 4 (直通)
	治 水 課 長	池田 共実	2 4 - 7 2 5 0 (直通)
	道路計画課長	大江 祐一	2 4 - 7 2 6 8 (直通)
	築 港 課 長	三岡 照之	2 4 - 7 3 2 6 (直通)
	農業開発課長	正野 俊晃	2 4 - 7 3 4 9 (直通)
釧路開発建設部ホームページ		https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/	

令和4年度

北海道開発事業の概要
(釧路開発建設部実施分)

令和4年3月

釧 路 開 発 建 設 部

別紙

令和4年度 釧路開発建設部事業費総括表

(事業費)

(単位：百万円)

事 項	予 算 額	備 考
治 水	1,140	
道 路	22,359	
港 湾 整 備	3,313	
空 港 整 備	351	
都 市 水 環 境 整 備	233	
農 業 農 村 整 備	4,590	
水 産 基 盤 整 備	3,381	
合 計	35,367	

注) 1. 農業農村整備及び水産基盤整備を除き、工事諸費は含まれていない。

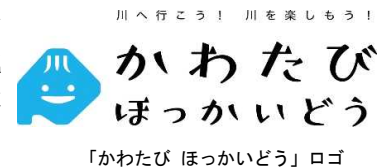
2. 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

治水事業

○強靱で持続可能な国土の形成

国が管理する一級河川釧路川水系において、第8期北海道総合開発計画に掲げられた「世界の北海道」を実現するため、強靱で持続可能な国土の形成に資するインフラ整備、老朽化対策の推進を図るとともに、農林水産業や観光等を担う生産空間を支える治水事業等を実施します。令和4年度は、近年の災害や気候変動の影響を踏まえて、流域のあらゆる関係者が協働して取り組む「釧路川水系流域治水プロジェクト」に基づき、釧路湿原など自然環境がもつ貯留・遊水効果を保全するとともに、ハード・ソフト一体の事前防災対策を推進します。また、「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づくソフト対策などの減災に向けた取組を実施します。

あわせて、川の自然環境や景観、水辺の活動、サイクリング環境等、川に関する情報を効果的に発信するとともに、地域と連携して、魅力的な水辺空間の創出、水辺利活用を促進し、北海道らしい地域づくり・観光振興に貢献する「かわたびほっかいどう」プロジェクトを推進しています。



《河道整備》



釧路川の河道整備状況

事業の概要 河道掘削、築堤 一式

治水事業の概要

事業別	地区別等	事業の概要
河川改修	釧路川	洪水による災害の発生防止、軽減を図ることを目的に河道の掘削、堤防の整備などを行います。
河川維持修繕	釧路川	堤防や樋門などの河川管理施設の維持管理を行います。
総合流域防災対策事業	—	火山噴火に対する危機管理などの検討を行います。

道 路 事 業

第8期北海道総合開発計画（平成28年3月29日閣議決定）においては、「世界の北海道」を目指し、北海道の強みである「食」と「観光」を戦略的産業として位置付けており、引き続き食と観光を担う「生産空間」の維持・発展に取り組んでいます。

道路における具体的な取り組みとしては、我が国の食料供給基地としての持続的発展を目指すための、「食」の輸送経路を支える物流ネットワークの充実、我が国の観光先進国実現をリードするための、観光地や主要な空港・港湾等への交通アクセスの円滑化、これらを実現するため、高規格道路ネットワークの構築を推進します。また、激甚化・頻発化する気象災害や切迫する大規模地震、インフラの老朽化の現状を踏まえ、道路の防災対策、老朽化対策、交通安全対策や無電柱化等、社会資本の戦略的な維持管理・更新を推進します。さらには、インフラ改修による省エネルギー化やICTを活用した施工の効率化など北海道における2050年カーボンニュートラルに向けた取組によりゼロカーボン北海道等を推進します。

国内外の新たな観光需要を取り込むため、高規格道路ネットワークの構築に加えて、地域資源を活かした多様な観光メニューのより一層の充実が必要です。このため、多様な機関との連携のもと、「シーニックバイウェイ北海道」の推進、道の駅の整備等のドライブ観光促進の取組や、サイクルツーリズムの推進に取り組めます。

1 食料供給基地としての持続的発展及び

世界水準の観光地の形成を目指す地域社会の形成

○広域分散型の地域構造を支える道路ネットワークの形成

北海道内外の人流や物流の拡大、地域・拠点間の連携を確保するため、高規格道路等のネットワークの構築を推進します。

- ・北海道横断自動車道根室線 本別～釧路（令和6年度全線開通予定）
- ・国道44号（北海道横断自動車道根室線） 尾幌糸魚沢道路
- ・国道38号 釧路新道（令和6年度全線開通予定）



北海道横断自動車道根室線 本別～釧路



国道38号 釧路新道

■ **高規格道路ネットワークの形成**
津波浸水被害などの災害時の救急活動等においても機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築、物流効率化や観光周遊性の向上等が期待される。



2 強靱で持続可能な国土の形成

○道路の防災・減災対策

地震・津波による被害や社会的影響を最小限に抑えるため、代替性確保のための高規格道路の整備や緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強、道路斜面や盛土等の防災対策を推進します。また、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」（令和2年12月閣議決定）を踏まえ「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム(北海道ブロック版)」を令和3年4月に策定し、防災・減災、国土強靱化の取り組みを重点的かつ集中的に推進します。

- ・北海道横断自動車道根室線 本別～釧路
(令和6年度全線開通予定)
- ・国道44号(北海道横断自動車道根室線)尾幌糸魚沢道路
- ・国道44号 根室防雪(令和7年度全線開通予定)
- ・国道272号 上春別防雪
- ・国道335号 標津防災(令和4年度全線開通予定) ほか



国道335号 標津防災

○冬期災害に備えた対策の推進と災害発生時における地域支援

冬期の安全・安心を確保するため、冬期災害に備え、代替性確保のための高規格道路の整備、一般国道等の現道における防雪対策、防災訓練や住民の意識啓発等を推進します。また、災害発生時における被災地の支援のため、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊：リエゾン^注）を含む等により、被害拡大の防止、被災自治体管理施設の被災状況の調査、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に、きめ細やかに実施します。

(注：重大な災害の発生または発生のおそれがある場合に情報収集等を目的として地方公共団体へ派遣する職員)

- ・国道243号 美幌峠雪崩対策

○道路施設の老朽化対策

道路施設が有する機能を長期にわたって適切に確保するため、各施設に応じた点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進します。

- ・国道38号 橋梁補修 ほか

○無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から、低コスト技術を積極的に導入しつつ、無電柱化推進計画に基づき、各道路管理者・関係事業者の連携の下、無電柱化を推進します。

- ・国道38号 釧路橋北地区電線共同溝 ほか

○交通安全対策の推進

事故データ、地域の声やビッグデータを活用した分析により、事故の危険性が高い区間を抽出し重点的な対策を実施する事故ゼロプラン^注を推進するとともに、高規格道路の暫定2車線区間については、正面衝突事故対策としてワイヤロープを整備します。また、通学路や未就学児の移動経路にて、子供の安全な通行を確保するための取組について関係機関と連携し推進します。

- ・国道44号 川口中央帯整備ほか6か所

(注：事故ゼロプラン：交通事故の危険性が高い区間である「事故危険区間」の交通事故対策の取組)

道路事業の概要

路線・地区名	主 要 事 業
E38 北海道横断自動車道根室線 E44 国道 44 号（北海道横断自動車道根室線） 国道 38 号 国道 38 号ほか 国道 38 号ほか 国道 44 号 国道 44 号ほか 国道 243 号 国道 272 号 国道 335 号	本別～釧路〔高規格道路の整備〕（令和 6 年度全線開通予定） 尾幌糸魚沢道路〔高規格道路の整備〕 釧路新道〔道路の改築〕（令和 6 年度全線開通予定） 橋梁補修〔道路施設の老朽化対策〕 釧路橋北地区電線共同溝ほか 1 か所〔無電柱化の推進〕 根室防雪（令和 7 年度全線開通予定）、雪裡橋架替〔道路の防災・減災対策〕 川口中央帯整備ほか 6 か所〔交通安全対策の推進〕 美幌峠雪崩対策〔防雪対策〕 上春別防雪〔道路の防災・減災対策〕 標津防災〔道路の防災・減災対策〕（令和 4 年度全線開通予定）

令和4年度の道路調査の見通しについて(ネットワーク)

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

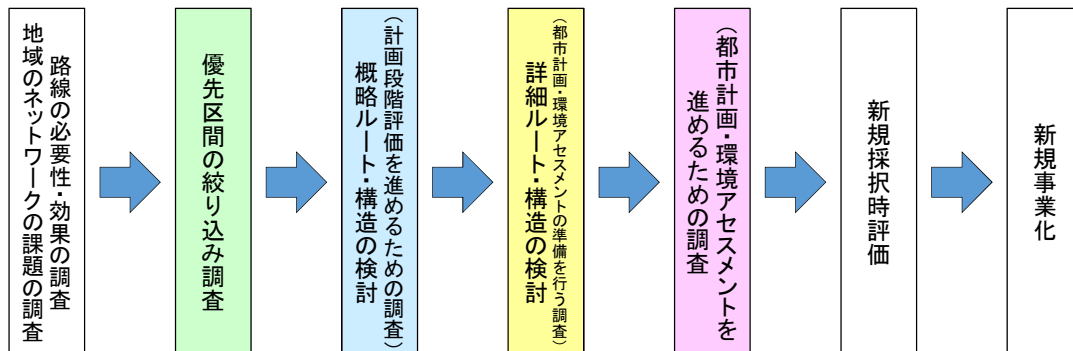
概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)

北海道横断自動車道 ^{べっほ} 別保 ^{おぼろ}～尾幌

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<道路調査の流れ>



港湾整備事業

東北海道は、酪農に適した冷涼な気候・広大な大地や寒流・暖流の混ざり合う好漁場を有する地域であり、全国有数の生乳生産量や漁業生産量を誇り、我が国の食料供給基地として非常に重要な役割を果たしています。根室港では、根室市を含む道内6管理者により策定した農水産物輸出促進計画が認定され、平成29年5月に農水産物輸出促進基盤整備事業に関わる連携水揚港湾として認定、釧路港では平成31年3月に西港区において大型船舶による穀物の大量一括輸送を可能とする国際物流（バルク）ターミナルが供用を開始したほか、島防波堤の背後に浚渫土を有効活用した盛土による浅場を造成し、防波堤構造物の安定性向上を図るとともに、盛土上にブルーカーボン生態系となる藻場を創出するなど脱炭素化への取組も進めています。

港湾整備では、引き続き東北海道と本州方面や海外との更なる物流効率化や輸出競争力強化を図るとともに、激甚化する風水害への対策として、港湾における高潮、高波対策や老朽化対策など国土強靱化に向けた対策の加速化を図っていきます。

【釧路港】

西港区では、港内静穏度向上を目的とした島防波堤・新西防波堤の整備と船舶の円滑な利用を確保する泊地整備を実施します。

東港区では、老朽化した西防波堤の改良を実施します。



釧路港西港区 土砂処分場整備状況

【十勝港】

飼料原料を運搬する大型貨物船などの船舶の安全な利用を確保するため、航路等の^{シュンセツ}浚渫を実施します。

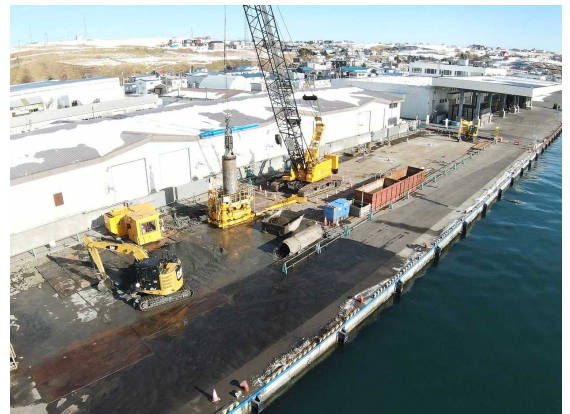


十勝港本港地区 ^{シュンセツ}航路浚渫状況

【根室港】

^{ハナサキ}花咲港区では、農水産物のさらなる輸出促進に向けて、水産物の輸出競争力強化を図るため、屋根付き岸壁の整備を実施します。

根室港区では、老朽化した北船揚場の改良を実施します。



^{ハナサキ}根室港花咲港区 屋根付き岸壁整備状況

【霧多布港】 ^{キリタツブ}

利用船舶の安全航行を確保するため、北防波堤の改良を実施します。



^{キリタツブ}霧多布港本港地区 北防波堤改良状況

港湾整備事業の概要

港湾名	地区名	事業の概要
重要港湾 釧路港	西港区 東港区	島防波堤、新西防波堤、水深 14m 泊地 西防波堤改良
重要港湾 十勝港	本港地区 外港地区	水深 14m 航路、水深 13m 航路 水深 2m 泊地
重要港湾 ^{ハナサキ} 根室港	^{ハナサキ} 花咲港区 根室港区	水深 5.5m 岸壁改良、水深 6m 岸壁改良 北船揚場改良
地方港湾 ^{キリタツブ} 霧多布港	本港地区	北防波堤改良

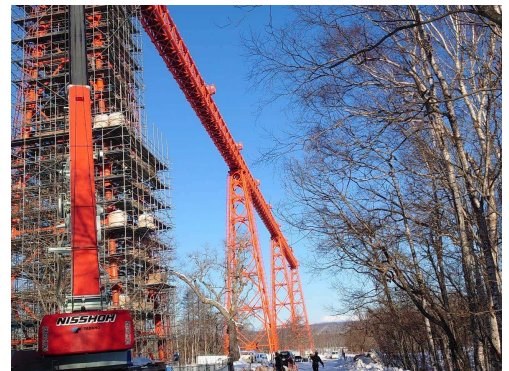
空港整備事業

東北海道は、世界自然遺産の知床、阿寒・釧路湿原の他多数のラムサール条約登録地など、自然に恵まれており、多数の国内・国外の観光客が訪れる中、釧路空港は広域的な観光周遊等の玄関口として重要な役割を担っています。また、令和3年3月1日より、北海道エアポート株式会社にて空港運営事業が開始されています。

国内・国外航空路線網の基幹空港である釧路空港では、「観光先進国」の実現に資するよう、航空機の安全運航に必要な基本施設の老朽化対策を実施します。

【釧路空港】

航空機の安全かつ安定した運航を維持するため、進入灯橋梁の老朽化対策を進めます。



釧路空港 進入灯橋梁改良状況

空港整備事業の概要

空港名	事業の概要
釧路空港	進入灯橋梁改良

都市水環境整備事業

○強靱で持続可能な国土の形成

恵み豊かな自然と共生する持続可能な地域社会の形成に資するため、釧路湿原の自然環境保全・復元を目的とした自然再生事業を推進します。

《幌呂地区湿原再生》

事業の概要	湿原再生	一式
	モニタリング	一式

○地盤の切り下げにより、地表面を地下水に近づけ、湿原植生の回復を図ります。



幌呂地区湿原再生事業区域の全景

《ヌマオロ地区旧川復元》

事業の概要	掘削	一式
	管理用通路	一式

○直線化された河川の旧川復元を行い、湿原本来の蛇行した河川へ復元します。



ヌマオロ地区旧川復元区域の全景

都市水環境整備事業の概要

事業区分等	地区別等	事業の概要
総合水系環境整備事業	釧路川	幌呂地区の湿原再生、ヌマオロ地区の旧川復元などの釧路湿原自然再生事業を行います。

農業農村整備事業

管内の農業は、夏季の農耕期間の気候が冷涼であることから酪農を主体とした経営が盛んであり、経営の安定を目指した事業展開を行っています。

1. 実 施

○国営環境保全型かんがい排水事業（継続）

別海北部地区・根室地区において、家畜ふん尿を利用した資源循環型農業を実現するために用水路・排水路の整備を行います。



施工中の肥培かんがい施設（別海北部地区）

○国営緊急農地再編整備事業（継続）

阿寒地区において、牧草の増収や農作業の省力化に向けて、農地の大区画化や暗渠排水、排水路の整備を行います。



区画整理 基盤整備状況

2. 調査計画

○国営総合農地防災事業（継続）

川湯跡佐地区において、農地の湛水被害の解消のため、排水施設の整備により機能回復を図る事業に向けた調査を行います。



農地の湛水被害

農業農村整備事業の概要

1. 実施地区
(継続)

事業種別	地区名	関係市町村名	受益面積	事業の概要
国営環境保全型かんがい排水事業	別海北部	別海町	29,411ha	用水路、排水路
	根室	根室市	5,896ha	用水路、排水路
国営緊急農地再編整備事業	阿寒	釧路市	2,407ha	区画整理

2. 調査計画地区
(継続)

調査名	地区名	関係市町村名
国営地区調査	川湯跡佐	弟子屈町

水産基盤整備事業

道東に位置する当部管内は、サケ・マス、サンマ、マイワシ、コンブ、ホタテ等の豊富な水産資源を背景に多様な漁業が盛んな、道内漁業生産の約3割を占める一大生産地域として、我が国の水産物供給において大きな役割を担っており、厚岸地区では、令和2年8月から衛生管理対策施設が供用を開始、羅臼地区では、令和3年4月から耐震強化岸壁が供用を開始したことで、地域に貢献しています。こうした地域において、これからも水産物を安定的に供給する役割を果たしていくことはもちろんのこと、基幹産業である水産業の更なる振興を図るため、「水産業の成長産業化に向けた拠点機能の強化」や「持続可能な業生産を確保するための漁港施設の強靱化・長寿命化」を重点的に推進します。

アッケシ

【厚岸地区】

漁船の安全な航行を確保するための航路・泊地の整備や、高潮被害の防止を図るための用地嵩上げに向けた整備を推進します。

また、漁港施設の長寿命化を図るため、岸壁等の補修を行います。

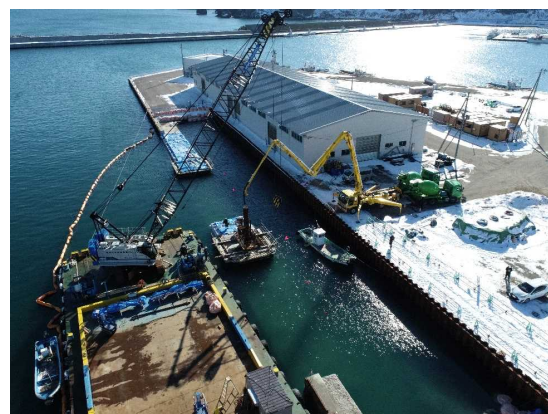


厚岸地区 水域施設整備状況

オチイシ

【落石地区】

大規模地震後における漁業活動の早期再開を図るための岸壁等の整備を推進します。



落石地区 係留施設整備状況

オオツ

【大津地区】

荒天時における港内の擾乱を解消し、漁業活動の安全性向上を図るための防波堤の整備や、衛生管理対策の強化を図るための岸壁の整備を推進します。

また、漁港施設の長寿命化を図るため、航路・泊地の補修を行います。



大津地区 外郭施設整備状況

ハホマイ
【歯舞地区】

衛生管理対策の強化及び流通の効率化を図るための用地（人工地盤）等の整備と合わせて静穏度の向上を図るための突堤の整備、越波・越流被害の防止を図るための護岸の整備を推進します。

また、漁港施設の長寿命化を図るため、温根元工区において防波堤の補修を行います。



歯舞地区 衛生管理対策施設整備状況

ラウス
【羅臼地区】

漁船の混雑を緩和し、漁業活動の効率化を図るための船揚場・用地の整備を推進します。

また、漁港施設の長寿命化を図るため、岸壁等の補修を行います。



羅臼地区 漁船多層係留状況

水産基盤整備事業の概要

事業区分	地区名	事業の概要
特定漁港 漁場整備 事業	厚岸地区 （第3種厚岸漁港）	水域施設：水深5.5m航路（湖南）、水深1.5m泊地（門静） 漁港施設用地：用地（改良）（湖北）
	落石地区 （第3種落石漁港）	【落石工区】係留施設：水深4.0m岸壁（改良） 輸送施設：道路（改良）（法面） 漁港施設用地：用地（改良）
	大津地区 （第4種大津漁港）	外郭施設：北防波堤（改良）、南防波堤（改良） 係留施設：水深3.5m岸壁（改良） 漁港施設用地：用地、用地（改良）
	歯舞地区 （第4種歯舞漁港）	【歯舞工区】外郭施設：突堤、西護岸（改良） 輸送施設：橋梁、駐車場（人工地盤） 漁港施設用地：用地（人工地盤）
	羅臼地区 （第4種羅臼漁港）	係留施設：船揚場（改良） 漁港施設用地：用地（改良）
	釧路管内地区	【厚岸漁港】係留施設：水深3.0m岸壁（補修）、水深2.0m物揚場（補修） 【大津漁港】水域施設：水深4.5m航路（補修）、水深3.5m泊地（補修） 【歯舞漁港】外郭施設：西防波堤（温根元）（補修） 【羅臼漁港】係留施設：水深3.5m岸壁（補修）、船揚場（補修） 輸送施設：道路（補修）、橋梁（補修）